

資料1：意見の振り返りと考えられる景観形成の方向性

■各会議・アンケート等で出された意見と考えられる景観形成の方向性

アンケート結果より

【景観に関する町民アンケート調査結果：駅周辺の今後のイメージ】

- 自然を感じられる
 - 開放的な雰囲気
 - みどりを多く配置
 - 落ち着きを感じられる
- これを「駅舎」「駅前広場」「左右の軸」「正面の軸」において重点的に景観づくりに生かす

▷ 倶知安駅周辺の今後のまちなみがどのような雰囲気となることを望むか



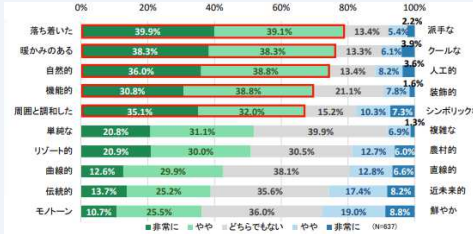
駅舎について

- **自然と調和し「羊蹄山」をキーワードとしたコンセプトへ**
 - ・ 自然と調和しながらも、洗練された印象を与えるデザイン。
 - ・ 「羊蹄山麓(=自然)全体、地域と人をつなぐ駅」というのがふさわしい。
 - ・ 「羊蹄山」の持つシンボル性、安心感、美しさ、雄大さがイメージされる駅舎が良い。
- **駅前通との連続性と高さを抑える**
 - ・ 駅前通りの景観も含めて、全体の景観を考えた駅舎デザインが必要。
 - ・ 駅前通りは視線がまっすぐ抜けるので、駅が見えてその背後に山が見えるという景観はこだわる必要がある。
 - ・ 駅前通りから新しくできる駅がランドマークとしてしっかりと見えることを大事にしたい。
- **羊蹄山やニセコ連峰への眺望の確保**
 - ・ 重要な視点場からの眺望を確保する必要がある。
 - ・ 駅舎が高い位置にできるなら、駅舎の上に展望台をつくるとまちを360度見渡すことができる。そこを重要な視点場として保全していく。



【駅舎デザインに関する町民アンケート調査】

- ・ 「落ち着いた」「暖かみのある」「自然的」「機能的」「周囲と調和した」が約6割以上支持された
- ・ 駅舎としてふさわしいと思うデザインが「羊蹄山を眺望できるデザイン」であり、次いで「誰もが使いやすいユニバーサルデザイン」、「自然と調和したデザイン」であった



駅前広場（東側）について

- **（交通広場）**
 - ・ 人の動線を考えたレイアウトとし、正面となる東側では自家用車やバスなどの乗降など、人の動きが見えるとよい。
- ※ **にぎわいのある駅前通りへの誘導**
- **（多目的な広場）**
 - ・ 人のにぎわいを演出するような仕掛けが必要。
- ※ **駅前通りでの「集まりたくなる居場所・賑わいづくり」というコンセプトとの調整**
- ・ 滞留空間が駅の羊蹄山側にあると良い。
- ・ 視界を遮る高さの植栽を置かないというような配慮事項があったらよい。
- ・ 駅舎を出たとき駅前通りの景観を見せるためにも、駅前の「ようこそくっちゃん町へ」の工作物はない方がよい。
- ※ **駅・交通広場の利用者のための、居心地の良い空間づくり**
cf. 駅前の広場は「にぎわいづくり」とは異なる方向性か。
Ex) 開放性を感じる(視界を遮らないようなみどりの配置)
 - ・ みどりや花など、冬のイルミネーションなど「おもてなし」を意識した空間づくり
 - ・ 撮影スポットになる空間づくり

駅前広場（西側）について

- **くとさんパークと連携した交通広場**
 - ・ 自由通路からまっすぐ倶知安山に向かって通路として空間を確保できると良い。
 - ・ 転車台を生かしたものとしたい。

左右の軸について

- **駅前広場と一体となった空間形成**
 - ・ 歩道幅員を広げるなど、駅前広場と一体となった空間づくりができるとうい
 - ・ みどりが少ない景色はガランとした印象になるので、みどりは必要である。
 - ※ 建物の配置や緑化などに配慮した、落ち着いた雰囲気？
 - ※ 駅舎等からの眺望確保のため、高さ・ボリュームへの配慮？



国道5号について

- **屋外広告物に対する街並みとの調和**
 - ・ 無電柱化によりすっきりとした印象となるため、屋外広告物が目立つ。
- **緑化によるうらおいの創出**
 - ・ 街路樹が少ないので、無機質な印象を受ける。
- **※羊蹄山やニセコ連峰への眺望との調和のため、建物の色合いをコントロールする。**
- **国道5号と駅前通の交差点**
 - ・ 国道と駅前通の交差点の角は大事なポイントである。
 - ・ 交差点の建物を壁面緑化をするとよりよくなる。



正面の軸（駅前通）について

- **賑わいと空の開放性を感じる道路空間の確保**
 - ・ 電柱の存在が道路の広がり感を狭く感じさせている。（無電柱化の必要性）
 - ・ 道路の幅を広げてしまったりかえって寂しく感じるので、逆に狭めるくらいの方が人が集まる空間になる。
 - ・ 人間的尺度による圧迫感を感じない建物の高さやセットバックをルール化すると良い。
 - ※ 空が広いと明るい道路空間となる、という視点はどうか。
 - ※ 街路樹の高さ(10m)程度がファサード高さの目安か？
- **居心地の良いパブリックな空間づくり**
 - ・ 建物をセットバックした空間は、アスファルトにせず歩道と一体的に活用すると、道路空間として広く見える。
 - ・ 小綺麗というよりも、個性的で少し賑わい感が外に見えている点が魅力の一つ。
 - ※ 緑化や店構えに関することも深堀りしたい。
- **統一感のある街並みづくり**
 - ・ 屋外広告物はサイズや色だけでなく、取り付け方にも配慮が必要である。



その他駅周辺について

- **通りごとの個性を引き立たせる**
 - ・ 通りごとに個性があるので、歩道の広さや緑化の設えの違い、フラッグや案内サインなどで持ち味を引き出す工夫がされていけば歩いて面白く感じるのではないかと
- **事前協議の場の設置**
 - ・ 「駅前通景観協議会」のようなものをつくり、ある程度の規模のものを作ってようとする場合は協議会で事前説明をしながら、合意を取りつつ建設を進められるような仕組みはできないか
- **その他**
 - ・ 石蔵倉庫は歴史的で味わいがある建物なので、駅前通りの集客的なエリアとして有効活用していきたい。
 - ・ 駅舎側からの羊蹄山への眺望確保を目的とした高さ制限の検討。